



### 虫の一分（写真3）

シオヤアブ。下校途中草むらに止まっているのを見つけた。モノクロで分からないかもしれないが、背景は緑色で虫は黄色なのでとてもいい感じになっていた。

また、このひょろっとした顔がとても印象に残った。まるで獲物に気づかれないように忍び寄るハンターのような感じがする。

### 琥珀と櫛（写真4）

クシヒゲシャチホコ。この種は名前にあるとおり触角と羽が透けているのが特徴で、この写真では地面の点の輪郭が羽から透けて黒くなっているのが分かる。ほかにも良い写真があるのだが、あえてこの写真を選んだ理由は、羽が透けていることを表したかったからである。また、この日は蛾の写真を撮るのに夢中になり、気づいてみれば終電しかなく、家に帰ったのは12時20分頃だったという苦い経験がある。



写真2. 擬態モドキ  
群馬県吾妻郡嬭恋村鬼押し園/  
2007/08/20 / NIKON D70 / SIGMA DG  
70-300mm F4-5.6 DG MACRO / 絞り6.3 /  
シャッター速度1/1000秒



写真3. 虫の一分  
兵庫県宝塚市中山五月台 / 2006/07/08 /  
NIKON D70 / AF-S VR Micro Nikkor ED  
105mm F2.8G(IF) / 絞り3.8 / シャッター  
速度1/320秒



写真4. 琥珀と櫛  
兵庫県宝塚市JR武田尾駅構内 / 2006/12/17 /  
NIKON D70 / AF-S VR Micro Nikkor ED 105mm  
F2.8G(IF) / 絞り5.6 / シャッター速度1/60秒